

高 AMH 症例の ART 治療における柴苓湯の胚質向上効果

山内博子¹⁾ 清野頼十¹⁾ 中岡義晴¹⁾ 森本義晴²⁾

医療法人三慧会 IVF なんばクリニック¹⁾ HORAC グランフロント大阪クリニック²⁾

【緒言】

ART 治療において胚質は妊娠成績を左右する重要な因子の一つである。胚質が低下する原因として、ミトコンドリア機能の低下、活性酸素による酸化ストレスの増加が考えられている。柴苓湯は 12 種類の生薬から構成されており、内因性ステロイド増強作用、水分代謝調節作用および抗酸化作用など多数の薬理作用を持っていることが知られている。一般不妊治療では特に多嚢胞卵巣症候群における排卵障害に対して有効であることから、本検討では AMH 値が比較的高値で調節卵巣刺激法の GnRH antagonist 法で採卵を行う患者を対象として、採卵前より柴苓湯を服用し、卵胞の発育、胚質および妊娠成績に対する効果を検討した。

【方法】

AMH 5 ng/ml 以上で採卵を行う症例のうち、採卵前周期から採卵周期の HCG 投与日まで柴苓湯エキスを細粒 8.1g/日を服用し GnRH antagonist 法を実施した 56 例（柴苓湯群）と柴苓湯を服用せずに GnRH antagonist 法を実施した 51 例（対照群）を比較した。柴苓湯群と対照群は同時期に当院で初回採卵し、柴苓湯服用の同意が得られた症例を柴苓湯群とした。

【成績】

獲得卵子数および成熟卵子数は両群において差はなかった。受精率は通常培精（c-IVF）では両群に差がなかったが、顕微授精（ICSI）では柴苓湯群のほうが高かった。良好胚率および良好胚盤胞率は柴苓湯群が高く（ $p<0.05$ ）、胚盤胞率も柴苓湯群で高い傾向があった（ $p=0.052$ ）。また、柴苓湯服用の有無により妊娠率や流産率に差はなかった。

【結論】

本検討では採卵前に柴苓湯を服用することにより、良好胚率と良好胚盤胞率を高め、胚質を向上させることが出来た。AMH が比較的高値の症例に対する ART 治療において柴苓湯を服用することは児獲得のための有益な選択肢の一つになると考えられる。